



林福連携



森とともに仕事を通じて、誰もが地域で役割を持つ社会へ

林福連携は、林業※と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、林業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会に参加できる場を広げる取組です。

※木材加工、きのこ栽培、苗木づくりなどを含む。

林業側のメリット

- 働き手の確保
- 生産量拡大、付加価値向上
- 森林資源の循環利用

福祉側のメリット

- 働く場の確保、所得向上
- やりがい獲得、技能向上
- 地域との交流促進

林福連携の事例

だに やまふくのうりんしゃ

(NPO法人)わっこ谷の山福農林舎(長野県筑北村)

- ・前身である社会福祉協議会が、障害者等の就労場所として、農林業代行サービスを開始。
- ・樹木の管理(伐採、剪定等)や地域の間伐材を使用した薪づくりなどの「やましごと」に障害者等が参加。
- ・間伐材を買い取る木の駅の運営や、温泉施設の薪ボイラー運用など、地域のエネルギー循環と雇用創出を両立。



(株)杉本商店(宮崎県高千穂町)

- ・障害者就労施設に、椎茸の原木栽培、収穫、加工などを委託。
- ・障害者の特性に合った作業分担と就労環境への配慮により、出勤率が向上し、賃金も増加。
- ・生産者の高齢化等による担い手不足を補い、地域の課題解決に貢献。

多様な人が自分らしく力を発揮できる地域づくりに貢献します

11月29日は「ノウフクの日」です！

林福連携について知りたい方はこちら →
(担当)林野庁経営課企画班(TEL:03-6744-2286)

